



中田小

令和2年6月30日

## 学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

## 中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

## The Rise of New Normal / 新しい日常の夜明け

副校長 鎌田 健二郎

緊急事態宣言に伴う長かった自粛期間、所謂「ステイホーム」の期間が終わって1か月が経ちました。皆様は、この期間の前と後とで何か変わったことはありますでしょうか。

私事で大変恐縮ですが、私は週末の朝の過ごし方に大きな変化があったのです。もとはと言えば4月の中頃、「ステイホーム」が始まり、週末出かけるどころもなくいよいよ車で自宅と職場を往復するだけになり、運動はおろかろくに歩くこともしなくなったのに気づいたことに端を発します。突然、走ったりしたら心臓に負担をかけかねないと思い、せめて少し歩くことを始めようと思ったものの「ウォーキング」などというほどのこともできないので、散歩を試みようと考えました。そこで、昼食後の腹ごなしを兼ねて、自宅近くの「ふるさと尾根道緑道」を歩いてみることに始めました。桜並木が大変立派なので桜の時期は大勢の人でにぎわっているのですが、「ステイホーム」だけあってマスクをした数人とすれ違うだけでした。何度か散歩する中で、緑道と繋がったそれまで行かなかった公園を発見して、そこもひと回りするようになり時間も1時間弱だったものが1時間半程度になりました。

そして、迎えたGW。今年は「ゴールデンウィーク」ならぬ「ガマンウィーク」。どこにも出かける予定もなかったのも、せめて普段できないことをやってみようと思い立ち、散歩している途中にある東側に開けた高台から「初」ではないものの日の出を眺めながら朝散歩を試みることにしました。5月3日、4時起きして家を出たところ、天気もよかったので4時40分過ぎに上る朝日を眺めながらの朝散歩に成功したのでした。それ以来、車の通りはもちろん人通りもほとんどない静寂の街や自然の中に身を置くことが気に入ってしまっ、週末の朝は5時起きして朝散歩するようになりました。

最近コースを変えて「ズーラシア（もちろん開園していません、門の前を通過するだけ）」からその先の「里山ガーデン」まで足を伸ばすようになりました。そのコースだと約6km、時間もはじめは2時間近くかかっていたものが、近頃は1時間半程度となり、正に朝飯前の朝散歩が習慣となったのでした。以前は最寄りのポストに行くのでさえも、時には車で行くこともあった自分が1時間半も歩くのを楽しむようになったのに自分で驚いている今日この頃です。

さて、長かった臨時休業が終わり、子ども達の元気な声の中田小にも戻ってきました。分散登校の第一期に続き、午前授業とはいえ一斉登校の第二期と変則的な登校ではありましたが、その期間も保護者の皆様や地域の皆様、そして泉警察の方々の登下校の見守りなどもあり、児童も安心して学校に通うことができました。本当にありがとうございます。おかげさまで、明日から給食も再開され通常通りの教育活動の再開です。

しかし、臨時休業後の学校再開は「新しい日常」と訳される「New Normal」の始まりでもありました。毎日の検温をはじめとして、三密を避けるためのソーシャルディスタンスを取ることもそうですし、記名をしたマスクを着用しての学校生活はこれまでなかったものです。エアコン使用時も常に窓を開けて換気するようにしたり、音楽の学習では熱中症に配慮しつつ歌う活動を行う場合もマスクを着用したり、体育の学習で全員集合する際でも間隔を2m以上空けたりするなど、これまでなかった「新しい日常」の風景は枚挙に暇がありません。明日から始まる給食では配膳時には給食用のマスクに替え、給食の準備前にしていた手洗いを給食後にも行うようになります。また、先日各家庭におけるICT環境についての調査をさせていただいたように、文部科学省のGIGAスクール構想を受けて横浜市でもICTを用いた学校と家庭との通信環境の整備を始めています。近い将来、緊急時における臨時休業の際はオンライン授業が日常の風景になっていくことでしょう。

一方、私たち教職員には子ども達が下校した後に描く「新しい日常」の風景があります。感染症対策として子ども達の手指がよく触れる部分の消毒を毎日おこなっています。塩素系消毒液とエタノールスプレーを使って、机・イス・電気スイッチ・蛇口・トイレのドアと鍵部分・レバー・ペーパーホルダー・便座や便座の蓋等をそれぞれ消毒していきます。

始まってみると「新しい日常」は、正に『児童の意識』と『教師の働きかけ』と『ご家庭の協力』とが、これまで以上に一体となって作り上げていくものだと改めて感じています。また、それを温かく見守りながら支えてくださる地域の皆様あってこそでもあります。

コロナとともに生きていく新しい時代の中田小の教育活動へのますますのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。